

上田市PTA連合会通信

発行／上田市PTA連合会

編集加工／(株)田口印刷



信州上田大花火大会



丸子 依田川の鯉のぼり

一年を振り返り思うこと

上田市PTA連合会 会長 山崎 浩成

この連合会通信をご覧になっている皆さんは、PTAや当連合会の動向について関心をお持ちだと思います。今年、何回かの常任委員会が開催されて、委員のみなさんと話し合いを重ねてきた中で思ったことは、多くの方が教育や学校環境について高い関心を持っていらっしゃることでした。そして学校の規模はそれぞれながら各単位PTAの活動の意見交換はとても有意義に感じました。

ご承知の通り我々上田市PTA連合会は、各単位PTAから選出された役員で構成され、上田市行政また上田市教育委員会に直接お話できる唯一の組織だと言われております。

先日行われた、上小PTA連合会主催の単位PTA会長の話し合いに参加して驚いたのは「PTAはなくした方がいい」という意見を持った方が案外多かったことです。私の率直な感想は、壊すのは簡単でもそれに代わる何かを作ることは簡単ではないということです。そして壊すだけだと、誰かの負担が大きくなることは、はっきりしています。我々の小学校でも以前ある作業のボランティアを募集したことがありましたが、人が全然集まりませんでした。改めてPTAの名のもとに人を動かすことは、大きな力だと感じました。

一年間の任期の中、例年様々な活動が企画され運営されておりますが、今年度、市P連では、土屋陽一上田市長、酒井秀樹上田市教育長のお二方をお招きして懇談会を開きました。今回は、PTA活動の現状と行政との接点という観点で、親しく懇談させていただきました。

今後も様々な形で行政また教育委員会に働きかけをして、よりよいPTA活動が出来ますことをご祈念申し上げます。



真田 菅平高原の高原野菜



武石 余里の花桃

つながる再び

上田市校長会 会長 城田 真裕

上田市PTAの皆様、連合会の皆様には、日頃より、学校の教育活動にご理解とご協力を賜り、紙面をお借りして心より御礼申し上げます。誠にありがとうございます。また、連合会役員の皆様には、昨年度、PTA運営Q&Aを作成していただき、大変参考にすることができました。重ねて感謝いたします。

さて、令和6年度の各校のPTA活動は、会議や活動の精選、簡略化・効率化も含めて、今までから一歩、二歩と進んだのではないのでしょうか。「子どもたちの健やかな成長のため、子どもたちの笑顔のために、何かできないか」という根幹的な願いのもと、保護者の皆様の取組には、多くの「つながる力」をいただきました。ある学校では、PTAコーラスが復活し、目の当たりにした子どもたちが大人の歌声に感動し、すごさと温かさで団結を感じたようでした。その他にもPTA親子作業やバザー、PTA講演会、お祭り、新企画等々で、保護者同士のつながり、子どもとのつながり、学校・地域とのつながりを実感し、さらに深まったと確信しています。大人たちの元気シャワーを浴びせ続けることが、安心・安全な生活につながり、子どもたちが勇気をもって前へ進む力になると信じています。

今後、PTA活動にもさらに様々な課題が出てくと思いますが、同じ願いのもと丁寧に話し合い、互いに協働することが、その解決に向かう道になるのではないかと思います。子どもたちの健やかな成長のために、よろしくお願いいたします。

2024 年度役員

会 長	山崎浩成	塩田西小学校
副 会 長	瀧澤利恵	第三中学校
	竹花太輔	川辺小学校
常任委員	丸山智美	第二中学校
	宮本智史	城下小学校
	金井希巳枝	菅平小中学校
	草間真由美	丸子中学校
	滝澤政彦	西小学校（学校長）
	西澤直記	長小学校（学校長）
監 事	山口 泰	神川小学校
	長坂篤志	豊殿小学校
幹 事	上田市教育委員会学校教育課職員	





市長、教育長との懇談会を開催！



10月15日に市長・教育長・学校教育課長と上田市PTA連合会役員で懇談会を開催しました。
紙面の都合上、一部ではありますが内容を紹介します。

テーマ①小中学校の統合再編について



市P連

私の学校では少子化が進み、地区子ども会の行事が一部継続できない地区があり、PTA活動に限定し地区統合の協議を進めております。年々、児童生徒数が減っていますが、今後の学校の統合や再編の方針についてどのように考えていらっしゃるか教えてください。



教育長

私も自治会の活動をしている中で、住人が少なくなっていくことには危惧を感じています。人が減っていくため再編していくしかなく、本当に必要な活動かどうかを個々に判断していくことが必要だと思っています。学校の統合再編については「上田市小中学校のあり方に関する基本方針」の中で望ましい学校規模を策定しています。複数の学級があること、専科の教員がいること、また通学距離についても述べています。行政主導での統廃合はしないことが基本方針となっており、地域の声を聴きながら進めていきたいと考えています。



テーマ②今後のPTA活動はどうあるべきか



市P連

少子化、非加入家庭の増加、教員の働き方改革などにより、これまでのようにPTA活動を行うことが難しくなっています。社会も大きく変わっている中、今後のPTA活動はどうあるべきか、お考えを聞かせてください。



市長

全国的にみるとPTAをなくす動きもありますが、PTAは、学校、保護者の架け橋としてとても重要な働きをしています。活動時間帯の見直しやオンライン化、働きながらもできる活動内容にするなどの工夫も今後は必要になってくるかもしれません。地域とも連携しながら活動を継続していただきたいです。皆さんはPTA役員をやってみた感想はどうですか？



市P連

最初は分からないことばかりだったが、先生方のサポートもあり、今はやってよかったと思っています。PTAは楽しいと思ってもらえるようにしたいです。親が楽しんでいると子どもも喜びますし、大人も一緒に成長できると良いと思います。

テーマ③特別支援教育支援員の増員について



市P連

特別な支援や個別の配慮が必要な子どもが増えているほか、児童生徒一人一人への細やかな対応が求められているため、少子化が進んでも先生の負担は軽減されていないとお聞きます。すべての子どもの健やかな成長や学びのため、また先生の負担軽減のためにも、市の会計年度任用職員である特別支援教育支援員の増員を検討していただけないでしょうか。

要望として受け止めたいと思います。一人一人に寄り添い、子どもたちが、上田市で育ってよかったと思えるような対策をしていきたいです



学校教育課長

テーマ④・魅力ある上田市になるためには



市P連

移住者はもちろん、上田市出身の子育て世代が「上田で子育てしたい」と戻ってきてくれるような、魅力あるまちになってほしいと願っています。制度の整備のほか、上田市の魅力PRなど積極的な情報発信は、人を呼び込むだけでなく、今住んでいる上田市民、子どもたちの誇りにもなるのではないのでしょうか。

上田市は信濃国分寺、真田氏、美ヶ原など多くの魅力があり、その魅力を学ぶ、「信州上田学」を推進しています。子どもたちにもふるさと学習のような形で上田の良さを伝え、将来上田を離れたとしても遠くでも思い出してもらえるようにしたいと思います。



市長

最後に市長、教育長から 子どもたちへのメッセージ

人間関係で悩んだとき、どう乗り越えていくか。

失敗を重ねながら前へ進み、たくましい子どもたちに育ててほしいと思います。命の大切さを感じ取り、貴重な人生を生き抜いてください。

これからの上田市のまちづくりにも是非声をあげていてください！



市長

学校を楽しい場にするのが大事です。

中学校は、中学生が自分たちで楽しくしていく場所です。

小学校は、高学年が低学年に楽しさを伝えていき、低学年は高学年から、学校の楽しさを教わってほしいと思います。



教育長



懇談会を終えて…

テーマ以外にも、学校のトイレ様式化、学校遊具、PTA役員決めの話など、PTAや学校の現状について、和やかな雰囲気の中で意見交換をすることができました。市長、教育長に直接PTAの立場として生の声をお伝えできる、とても有意義な時間となりました。

各校PTAの取り組み紹介 1

市内各校PTAの活動を紹介します。

丸子中「PTA 講演会」

本校出身のうえだミックススポーツクラブ理事長 荒川玲子先生をお迎えして『上田から世界へ～可能性は無限大(∞)～』というテーマで、上田のチアリーディングチームを世界へと導いたチームの立ち上げから今現在に至るまで、そしてこれからのお話をして頂きました。

ご自身のチアとの出会い、闘病、子供たちや保護者に対する思い、そこに関わって来た方々たちへの感謝の思い、そして、願いを叶えるための3つのこと ○自分を信じる○あきらめない○努力すること のお言葉を頂き、生徒達の心にもしっかり届いたと思います。とても良いお話と素敵な時間を頂きました。



川辺小「おやじの会による環境整備活動」

5月と9月におやじの会として、草刈り作業を行いました。この活動は、PTA作業とは別におやじの会として参加者を募り、実施しています。どなたでも参加できるよう、草刈り機を持っていない方も地域の方にお借りして作業を分担していただきました。

学校と保護者と地域が三位一体となって子ども達のために環境整備という形で協力しています。1時間程の作業ではありますが、この活動を通して、グラウンドや普段目の届かない場所などまできれいにしていただきました。

今後も学校と保護者と地域が協力し合いながら、子ども達のために出来ることをしていけたらと思います。

西小「元気市」2024

今年も、保護者、教職員の負担軽減を大前提としながらも、昨年と同じ規模での開催となりました。今年度は体育館内でバザー、射的、ペットボトルボーリング、スリッパ飛ばし、視聴覚室で対戦ゲーム(将棋・オセロ)、サンシャイン広場で金管の演奏、たんぽぽ学級の販売等を行いました。10時開始の30分前には親子の長蛇の列ができましたが、動線を明確にすることや「元気市の約束」に従いながら実施ができ、大きな混乱もなく参加者もとても楽しめた内容になりました。今後も内容等を検討し、PTAが笑顔になれる活動にしていきたいと思います。



各校PTAの取り組み紹介 2

豊殿小「豊殿小フェスタ2024」

今年度は、♡笑顔と感動溢れる 豊殿小♡をテーマにPTA 主催の豊殿小フェスタが11/1(金)に開催されました。子どもたちの合唱で始まり、会場は澄んだ歌声に包まれました。その後、全員でのカウントダウンで約5分間“花火”が夜空を彩りました。地域のまちづくり協議会に協賛いただき、武舎煙火工業株式会社に盛大に打ち上げて頂きました。たくさんの方に「花火綺麗だったよ」「楽しかったよ」との声を掛けて頂き、子どもたちの記憶に残るイベントとなりました。天気予報では雨も心配されましたが、開催時間には雨も上がり、感動的な時間を子どもたちと過ごすことが出来ました。



三中「PTA コーラス」

「保護者の頑張る姿を子ども達に見てほしい」そんな思いの元始まったPTA コーラス。

コロナ禍で一時中断しましたが、学校側のご協力のお陰で令和5年度に復活しました。コロナ禍前は保護者のみの参加でしたが、復活する年から先生方にもご協力していただけるようお願いし、先生方と保護者が一緒に歌うことになりました。

夏休み明け頃から週1回公民館で練習を重ね、9月の大星祭の合唱コンクールで歌わせていただきました。練習に参加することで、知らない保護者の方とお知り合いになれたり、先生方との繋がりが強くなりました。

合唱コンクールの後、生徒達が私達が歌った歌を口ずさんでいたと先生からお聞きし、とても嬉しかったです。



長小「RainboW Walking 歩行ケア事業」

「どうやって歩いていますか？」日々無意識のうちに歩いている子ども達や大人のために、長小学校では歩行の良さを発信し自分の歩行の見直しを行いました。PTAと連携し一般社団法人RainboW Walkingの協力のもと、全校児童・希望保護者・職員の歩行データを一人ひとり測定分析し、歩行改善指導を行っています。学校や家庭で継続して毎日3分間程度の個別改善体操をしたり、登下校時少しでも多く歩くようにしましょうと呼び掛けたりしています。幼少期から歩行ケアを行い、高齢者になってもバランス能力の低下を抑え、より長い期間自立した生活を送ることができる体づくりを目指しています。



各校PTAの取り組み紹介 3

菅平小中「PTA 主催スキーバザー」

本校では、毎年春と秋に PTA 主催のスキーバザーを開催しています。本年度、春のスキーバザーは悪天候のため中止となりましたが、秋には地元 JA 祭の一角を会場にし、開催することができました。バザーではスキー場のある地域らしく、スキー用品に販売品を絞っているのので、毎回たくさんのお客様で賑わいます。また、今年は地元の方からご寄付いただいたトウモロコシと小学生が学校の畑で育てたトウモロコシを使い、コーンスープの販売も行い、大人気でした。当日は担当の PTA 役員だけでなく、生徒・児童たちも自らポスター作りや販売の声かけを行ってくれます。



バザーでの収益は、冬の生徒・児童たちのスキー活動の一部に充てられます。今後も PTA 活動を通し、子供達の活動を支えていけたらと思っています。



城下小「やさしく強く」

大正ロマンの頃、校舎の周囲はコスモスがたくさん咲き乱れ、それは大変美しく、在職した先生方、卒業生にとっても大変思い出深い花だったようです。

創立 151 周年の城下小コスモスフェスティバルでは謎解きプロジェクト『リドラ』に挑戦。校舎内に問題を 50 問貼り大人もこどもたちもチャレンジ！

協力して楽しみながら謎解きするこどもたち。校舎は、こどもたちの笑顔がたくさん咲いていました。同時に運動着のバザーと 3 年生が一生懸命作った『上田みどり大根』の販売も行いました。みどり大根は大人気で即完売でした。

城下小学校は、たくさんの可愛い笑顔のこどもたちと、それをやさしく見守る先生方、保護者の皆さんで令和の今も満開です。



各校PTAの取り組み紹介 4

二中「PTA フェスティバル～二中面白オリンピック～」

二中では、PTA フェスティバルを毎年秋に開催しています。一昨年は「親子でミニ運動会」、昨年は「学校かくれんぼ」で大変盛り上がりしました。今年は、オリンピックの年でもありましたので、運動の苦手な人でもみんなのできる9競技を考え、グループごとに回り対戦するというフェスティバルを行いました。競技は、「たたいてかぶってじゃんけん」「フリスピードッチ」「手っ球（手で打つ卓球）」「スポーツチャンバラ」「フラフープリレー」などルールもあまり難しくなく、練習無しですぐできるものです。テスト終わりの子どもたちとPTAの希望者もチームに入り、とても盛り上がり楽しいひと時となりました。



神川小「地域へ拡大！木彫り同好会」

木彫り同好会は、100年前神川小から始まった「山本鼎の農民美術」の伝統を受け継ぐPTA活動で、コロナ禍を経て昨年度から再開しました。講師は三代目中村実先生で、小学校の図工室にて、月1回のペースで活動しています。先生の丁寧なご指導の下、手鏡やペン立てに各々好きな花やキャラなどの作品を彫っています。

今年は、神川地域へ会員を広げ、親子でも参加できるようにしました。OBを含め20名が2月参観日の展示に向け作品作りをしています。大人は童心に返り彫刻に没頭し、子どもは授業で得たことを活かし自由に表現しています。

子どもたちと共に作業する中で、いくつになっても学校で学ぶ楽しさを経験させてもらっています。



編集後記

今年は、市長や教育長、学校教育課長との懇談があり、PTAの立場から意見や要望を伝えることができました。この意見や要望が少しでも実現して、これからのPTA活動に活かされていくことを期待します。そして、子ども達のために取り組む活動が、子ども達の笑顔につながっていくことを願っています。

上田市PTA連合会 副会長 竹花 太輔